



西中の風

～ 継続と徹底～

伊丹市立西中学校長

垣内 修

『笑顔あふれるあいさつ』

早いもので5月も下旬、1学期がスタートしてから約2ヶ月になろうとしています。新入生は、新しい制服に包まれ、大きな鞆を持って、また、2・3年生も毎日元気に登校してくれています。

私は、毎朝正門に立ち、登校してくる生徒と「あいさつ」を交わすのをとても楽しみにしています。生徒たちが元気よく「おはようございます」と挨拶をしてくれます。遠くから、大きな声でしてくれる生徒もいます。そんな生徒を見ていて、私は、とてもうれしく思っています。

【あ・い・さ・つ】

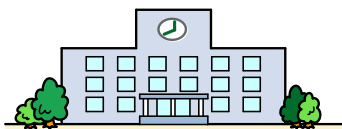
「あ」は、「あ」かるく元気に、「あ」いての顔を見て挨拶する。

「い」は、「い」つでも、どこでも挨拶する。

「さ」は、「さ」きに挨拶する。相手が挨拶するのを待っているのではなく、相手より「さ」きに挨拶をする。

「つ」は、「つ」づけることです。毎日、挨拶を「つ」づけて、挨拶の習慣を身につける。

学級や授業、部活動や行事など、生徒が毎日学校での「楽しみ」や「がんばり」をもって登校することができる、「笑顔あふれるあいさつ」のある学校をめざして頑張っていきたいと思っています。



教育実習



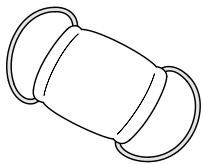
今年は2名の初々しい実習生の皆さんが、5月16日（月）から本校に来てくれています。坂本さん（英語）、片山さん（英語）、二人とも本校の卒業生です。ともに3年生のクラスに配属され、教科指導やホームルーム指導等について実習しています。放課後には部活動も体験してもらっています。

6月3日までの短い期間ですが、母校で教育実習ができるという貴重な機会を最大限活かし、また、この実習を通してより深く教師という職業についての理解を深め、近い将来、私たちの同僚として働いてくれることを願っています。

学校におけるマスクの着用について

学校においては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2022.4.1Ver.8)」等に基づき、基本的な感染対策（「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」「手洗い等の手指衛生」「換気」等）を引き続き徹底していく必要があります。

ただし、これから夏季を迎えるにあたり、マスクの着用については、教育活動の様態や生徒の様子などを踏まえ、臨機応変に対応することとしており、次の場合はマスクを着用する必要はないとして対応していくことといたします。



【マスクを着用しなくてもよい場面】



（１）体育の授業や部活動等において、運動を行う場合

※ただし、次の場合はマスクを着用します。

- ・身体的距離が取れない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合
- ・用具の準備や片付け、ミーティングなど運動を行っていない場合
- ・生徒がマスクの着用を希望する場合

（２）気温・湿度が高く、熱中症などの健康被害が発生する恐れがある場合

（３）夏季における登下校時

（４）十分な身体的距離が確保できる場合

※どの場合でも、マスクを外す際には、できるだけ人と十分な距離を保ち、近距離での会話を控えるように指導します。

保護者の皆様におかれましても、ご理解、ご協力をお願いいたします。